



令和4年3月27日(日)

原始・古代・中世部会に関わる3つの会議を開催しました



▲第6回原始・古代・考古グループ会議の様子



▲第2回原始・古代・中世部会の様子



先史時代(英語: prehistory)は、文字資料がない時代のことで、歴史時代(文字が成立し文献記録が存在する時代、英語: history)に対する年代区分です。この時代は遺跡や遺物などを手掛かりに、主に考古学、地質学、人類学などの分野で研究されます。

## 原始・古代・中世部会が執筆を担当する刊行物

令和5年度

新編遠野市史 資料編 考古

新編遠野市史 資料編 古代・中世

令和9年度

新編遠野市史

通史編Ⅰ 先史・古代・中世

### 第6回原始・古代・考古グループ会議

第6回原始・古代・考古グループ会議では、原稿執筆の進捗状況について確認し、発掘された年代が古い遺物の写真はモノクロであるため、撮り直しが必要であることがわかりました。これには時間がかかるため、掲載する遺物を早めに特定することを申し合わせました。

また、熊谷常正グループ長から、通史編のタイトル「**原始**・古代・中世」の年代区分を「**先史**・古代・中世」とすることについて提案がありました。これは、「原始」は primitive の訳語で「太古の、初期の」という意味のほか「未発達な、粗野な」という意味も含まれており本来歴史学の用語ではないこと、国内の博物館の展示や自治体史でも「先史」とすることが主流になってきていること、などの理由によるものです。この提案は了とされ、この日の第2回原始・古代・中世部会に提案されました。

### 第2回原始・古代・中世部会

原始・古代・中世部会は2つのグループに分かれているため、部会としての会議は、委員の委嘱や資料編の共通事項に関することなど部会全体に関わる協議が必要な際に開催されます。

第2回となる今回は、令和5年度の刊行を前にタイトルや体裁について協議しました。この結果、資料編のタイトルは『新編遠野市史 資料編 考古』と『新編遠野市史 資料編 古代・中世』とする案が了承されました。また通史編のタイトルは、熊谷常正委員の「原始」を「先史」とする案が了承され、『新編遠野市史 通史編Ⅰ 先史・古代・中世』となる見込みとなりました。これらは5月の遠野市史編さん委員会に提案され、正式に決定される予定です。

### 第6回中世・文献グループ会議

第6回中世・文献グループ会議では、前回申し合わせた原稿の体裁や作成方法に基づいて執筆した各自の原稿を持ち寄り、より細かな注意点や改善点について協議しました。また資料編の編目構成についても確認を行いました。



令和4年3月28日(月)  
経塚調査を行いました

中世・文献グループによる市内の経塚調査を行いました。

経塚とは、仏教の経典を地下に埋めた場所をいいます。経塚の造営は10世紀頃に日本で始まったとされ、寛弘4年(1007)に藤原道長が金峯山(奈良県)に造営した金峯山経塚が現在知られている最古の例です。その後11世紀後半から12世紀にかけて全国で盛んに造営されました。当時、永承7年(1052)から釈迦が説いた教えが滅びる末法の世が始まると考えられていたため、釈迦の死後56億7千万年後に弥勒菩薩がこの世に現れて仏となるまで経典を残すことを目的としていましたが、次第に極楽往生や現世利益もあわせて願うようになり、時代が下ると追善供養が主な目的となりました。

市内でも、既刊号でお伝えした宮代経塚のほか、山谷観音堂経塚や常堅寺前の一宇一石経塚など、古代から近世にかけて経塚が造営されています。今回の調査では、金ヶ沢の鉦塚、ジョウツカ、サンキョウ塚などをまわり、中世の経塚の可能性があるかを確認しました。宮代経塚や安倍館遺跡の発見により12世紀の遠野が奥州藤原氏の影響下にあったことが確認され、当時の政治的中心と目される安倍館遺跡にも近い場所に造営されていることから、安倍館を囲むように経塚が造営されている可能性もあわせて検証しました。調査に同行いただいた平泉世界遺産ガイダンスセンターの羽柴直人主任専門学芸員によると、ジョウツカとサンキョウ塚は舌状台地の先端部にあり、街道にも近いという立地条件を満たしており、安倍館遺跡が見える場所にあることから、中世の経塚とは断定できないものの宗教的な動機で作られたもので間違いなく、とのことでした。この知見をふまえて今後は塚の測量などを行い、資料編で市内の経塚について取り上げる予定です。

【参考文献】  
『第50回企画展岩手の経塚』岩手県立博物館 2000  
『遠野物語』柳田國男 1910(第113話:ジョウツカ)  
『遠野史叢』伊能嘉矩 1977(ジョウツカ、サンキョウ塚)  
『遠野の民俗と歴史』「遠野のくさぐさ」伊能嘉矩 1994(鉦塚) ほか



▲ジョウツカ。伊能嘉矩がサンキョウ塚とともにジョウツカ森として『遠野史叢』の中で不地震地として紹介している。『遠野物語』第113話では象を埋めた場所と伝えられている。



▲ジョウツカの西北にある経塚伝承地。古松の下が経塚であると伝わる。



▲サンキョウ塚。舌状台地先端頂上部とその下の斜面に1基ずつ存在する。サンキョウには「賢経」の字をあてるといふ。

